

波紋

3

§ 新規紹介特別キャンペーン §

皆んなの力で新口座
皆んなの知恵で新商品

特別キャンペーンを行った理由は、会社全体で会社全員で新口座、新商品をやらなければ会社が成長しないと思っただけからです。もちろん営業が主力です。しかし内務の人、製造の人、配達の人がその気になれば、皆んなの意識が高まれば、必ず輪が広がり成果につながると思っています。

今回は特に、伊東君と時見君が張り走り回ってくれました。日報にも情熱的に書いてありましたので、私は大変うれしかったです。まだ三月二十日まであります。あきらめずに頑張ってください。

営業だけでなく、皆んなの商品知識が高まり、意識が高まれば会社は儲かります。どんなに不況でも、きつと成果となると信じています。森松の社内の素人が新商品を売っています。やろうと思えば出来るんです。いづれにしても、皆さんの協力を感謝します。 木村英利

交 差 点

「巨峰は台湾
栗は中国」

一日と春めいてきました。が、商売上はまだまだ厳しい気候が続いています。円高・ドル安・売上税と諸問題が次々と起きてきて今後の見通しが立ちません。しかし、この混沌として、どうなるかわからないというところが、大きな変革の予兆であるような気がしてならない。

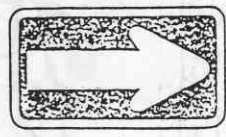
日本国は貿易黒字だが国の家計簿は大赤字で、借金だらけ。外国の株券や債券はたくさん買い込んだがドルが安くなり続けたら、紙切れになってしまおう。

国内の企業がどんどん外国へ出て、製品を作るといふ。

日本で作るより安く生産出来るから。テレビ・ラジオ・自動車・時計など工業製品だけかなと思っていたら、巨峰（ぶどう）・柿は台湾から、栗は中国、韓国から輸入しているそうです。

身近で採れていた日本の果物が、どんどん外国から入ってきている。しかも国産より早い季節に安価で、私達の味覚となるそうです。おいしいものがたくさん食べられる事は歓迎ですが。

今年はずべての面で、大変革の年になる。



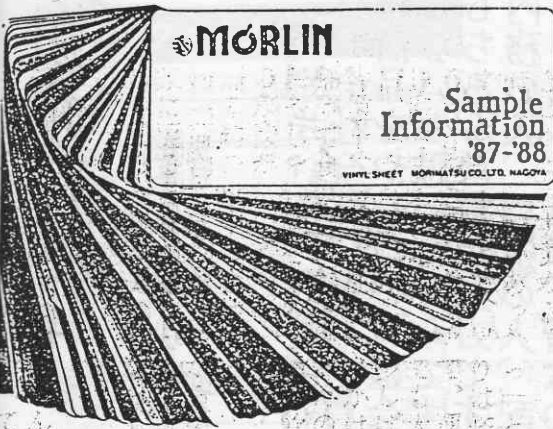
情報というのは、営業マンのみ必要な事ではない。社会人として立派に生きていくには必要な事です。

「少年ジャンプ」は見ますが、新聞は読みませんで置いてきぼりになりますよ。読む時間が無いなら早く起きて下さい。テレビ番組、スポーツ番組、スポーツ欄だけ見てるんだしたら中日スポーツをおすすめします。

毎日毎日の世の中を知らないと遅れますよ。まして営業の人で（名前はあえて言いません。安井君、孫田君、吉岡君とします）新聞を読まないで商売が出来るという事は、世間の話題を仕事に組み入れてないという事です。大したもんです。

私は営業でもなんでも、特に営業マンはお客様とお話させていたただくには、仕事の話のみじゃありません。

雑談もするはずですよ。その雑談の中から判断出来る事とか、自分を知ってもらうという事じゃないかと思えますが・・・
・・・さて、仕事の話をしませうか
新規・新商品と森松は方針通りやっています。皆さんご苦労様です。それなりの成果も上がっています。絶対に継続します。その為にも情報というのは、大変必要になってきます。
情報を得る為に何をすべきか、新聞だけ読んでいても注文は来ません。
新聞は最低限度必要だと言っているだけ



昨年より企画製作中の87年〜88年版の森松見本帳が三月中旬には出来上がりです。
今年始めより、皆様からまだか、まだか、との声が多く、大変御迷惑をおかけしましたが完成も間近になりました。
皆様のお手元へ一日も早く届くようにとガンバツテおります。いま暫くおまちください。
企画製作部

了出口



ゲレンデが

待っている♡

- 3月7日 会社集合AM6:00
- 出発AM6:30→小牧AM7:30→
- 恵那峡AM9:30~9:45→乗鞍観光ホテルPM12:30
- ♡PM2:00より森松スキー教室(コーチ・下垣氏)
- 3月8日 AM7:30朝食~スキー(自由)~PM12:00昼食
- ホテル出発PM1:00→恵那峡PM4:00~PM4:15
- 小牧PM5:30→会社着予定PM7:00

慰安旅行の
ご案内

ふるさと

我が田舎（山形県米沢市）へ正月五年ぶりに帰り、思った事は、やはり食べ物に季節感があり、周りに雪があるだけで「帰って来たんだ」と言う実感がわいて来る。

家が商いと牛乳配達もやっている事もあり、三十一日は朝三時より五日分の牛乳配達をおやじと一緒にした。

その後、朝飯の前に、うさぎはいないかと裏山を一回りした後で、うさぎが二匹いる事を確認し、朝飯の後鉄砲二人、セコ三人で山に入る。

一追いたところ、おやじの友達のまたぎ二人と合流、計七人でうさぎを二匹追う。うまく張人の中に一匹入ったのだが、義兄が自分の五m横を通っているにもかかわらず、見逃す。

元旦にもう一度追って見た。今度は土手になっているとは言え、又義兄の三m横で逃してしまう。その夜は義兄を酒の肴にして飲んだのは、言うまでもない。

おやじの言葉「うさぎでも人さ見っこで

二日には、朝四時に家から三十分で行ける白布温泉にある天元台スキー場の上る朝七時半から滑り、休憩四十分位したただけで、夕方四時半まで滑りっぱなし。名古屋でスキーに行っても、四、五時間で一日を終えるのに、そこは地元の粉雪が合うのか、疲れもほとんどなく、一日を終えホテルに一泊。

次の日あまりにも天気が良いので、雨になり、スキーはやめて家へ帰ると、おやじが「どうせ晩げにかえんなだが、まじがんさあから少しぐらいいいごで」とビールをすすめる。

俺は、「運転があっから」と言うとおやじ、「ええごで、帰りは修（義兄）がうさぎを逃がしたバツで、運転すっごで道路さ雪もねえし、修でも大丈夫だごで俺、「うだが、うじゃ少しばっか飲むが」片道十二時間、往復一日かけて里帰り。帰って良かったなと思っただけ、やはりおやじと鉄砲をやり、酒が飲め、食べものが懐かしい。

帰る時の車中の会話・
姉「荷物さ忘れっちゃがら戻ってけろ」
家に戻ると妹がおり・
妹「父ちゃんおごってから、顔出さねで行け」
姉「なんで」

妹「せっかく紀一と飲んでんだがら、そっけな早く帰っごどねえべて言って、おごってんなだ」
妹「んじゃ、帰っから母ちゃんさうまく言ってけろ」

それを聞いて、おやじもわがままであるが、毎年でも正月には帰ってこようと思いつながら、片道十二時間の帰路につく。

下垣紀一

初めてのスキー場

二月十一日、御岳高原スキー場へ、主人の友人一人と家族四人で、行ってきました。

山の道は四歳の娘には、きつかった様で行きも帰りも車の中で、戻してしましました。

でも、たくさんの雪、スノーボードでの遊び、みんな初めての体験で元気がばい遊んでくれたので、ホッとしました。

実は、私もスキー場というのは、生まれて初めてで、子供より私の方が、はしゃいでいたかも。

下の男の子は、リフトを遊園地の乗り物と思っただけ、「のりたいたいよ」とダダをこねたり、スノーボードのスピードが、恐いらしく、ちょっといやがったり。

子供が大きくなり、家族四人で滑れる日が早くこないかな、と思う今日このごろです。

何と言っても、寝不足の主人に感謝！
岩間敬子





△今月の社内行事

七日〜八日

慰安旅行・集合朝六時
乗鞍高原スキー場
乗鞍観光ホテル宿泊

十四日

営業・事務・合同会議
午前八時より

一八日

中堅幹部会議
午前七時半より

二十日

新規キャンベーン締切日

二二日

春分の日(休日)

二三日

営業会議
午前七時半より

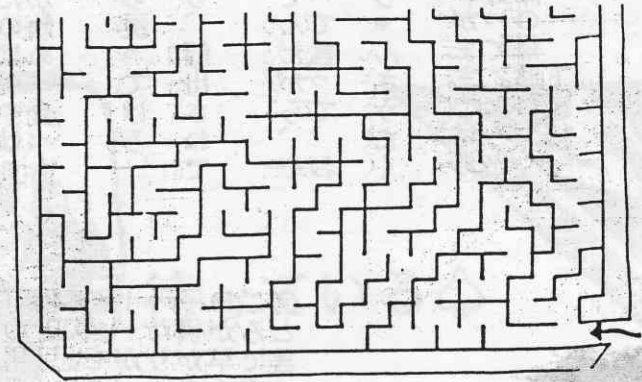
二八日

モーニング・スクール
午前七時半より

行ってみたい所

ランズボロー メイズボロー

日進は153号線沿いにオープンしたランズボローメイズ・和合高さ2mの塀が複雑に、はり巡らされてあり、その間をうまく通り抜けてくるといふ迷路。
なんとといってもニュージールランド生まれの巨大迷路。そう簡単には出られない。初めてチャレンジする人で平均40分から1時間はかかるといわれている。40分以内でクリアした人にだけスーパームイズへの権利が与えられる。
AM9:00〜PM10:00 年中無休
一度希望者を募って挑戦しに行きましよう!
編集部



↑ タイムガード

Start 62 1 -1 14 :32

Goal 62 1 1 :5 05

君のタイムは? 時間 分

- ルールを守ってさあ始めよう。
- スタート地点でタイムカードを打つて下さい。コールしたらそれにタイムを記録して下さい。
 - M・A・Z・Eの4つの塔に挿入付けたあるスタンプを4つとも押してからゴールして下さい。
 - 塔の下をくぐると危険です(緊急の場合は別です)。非常時以外は非常口をあげないでください(センサーが電気を).

MAZE CLUB(メイズクラブ)に入ろう!
(申し込み方法)
MAZE CLUB(メイズクラブ)への入会おめでとう!!
*このカードのキリトリ線の下に、住所・名前などを書き、メイズクラブ受付に出すとメンバーズカードがもらえます。
*ルールを守りMAZE(メイズ)をクリアした人は、入会OKです。
■MAZE CLUB(メイズクラブ)に入ると毎月のメイズ大会に参加できます。

巨幅植木袋後記

頬なでる冷たい風の中にも、春の香を感じます。皆さんも「春よ来い、早く来い・・・」と口ずさんでしまおうのではないでしょうか?
当社では、只今「新規キャンベーン」を社員一丸となり取り組んでいます。その功あって、喜ばしい話も聞かれます。
この社内報がさらに多くのお客様に愛読して頂けますよう、編集部一同心秘かに願っている次第です。
更に、今月は社員待望の慰安スキー旅行があります。下垣氏をコーチとして、スキーの腕も上がり、さぞ楽しい旅になる事と思えます。来月号にはその報告を載せますので、協力お願いします。
季節の変わり目、健康には充分気をつけ、春を迎えたいですね。 岡田洋子

編集発行者
森松株式会社
発行責任者
橋本正子
昭和62年3月2日